

オタネニンジンの種子長期保存方法

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

特用作物－薬用ニンジン－採種・繁殖、生育調節

2 担当者名

長浜友佳、星佳織、堀越紀夫、山田真孝、野田正浩、吉田直史

3 要旨

環境省「絶滅危惧植物種子の収集・保存等に関するマニュアル」（2009年2月）に従い5年間保存したオタネニンジン種子は、発芽率が8割以上確保できることを明らかにした。

- (1) 催芽させない乾燥状態のオタネニンジン種子をマニュアルに従い水分15%程度に調整し、密閉ガラス瓶に乾燥剤と一緒に冷蔵庫（4℃または-20℃）で保存する（写真1、写真2）。
- (2) 5年保存種子の発芽率は4℃、-20℃保存区ともに8割程度を確保できる（表1）。



写真1 オタネニンジンの種子

左：未催芽、右：催芽種子



写真2 種子保存の様子

注1) 種子をシリカゲルとともにジッパー付きビニール袋に入れ、袋の外側をアルミホイルで覆って遮光し、密閉ガラス瓶内に入れ家庭用冷蔵庫で保存した。

表1 5年間保存したオタネニンジン種子の発芽率

品種	採種年	保存前の種子状態	保存条件	供試種子粒数	発芽率(%)
会津在来	2014	未催芽	4℃	157	81.5
			-20℃	305	80.4

※4℃、-20℃処理ともに家庭用冷蔵庫を使用した

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 環境省「絶滅危惧植物種子の収集・保存等に関するマニュアル」（2009年2月）